

総会及び第1回研究会（報告）

- 1 開会の言葉
- 2 会長挨拶 愛知県立豊田北高等学校長 藤井達也
- 3 議題
 - (1) 新役員紹介
 - (2) 平成27年度事業報告
 - (3) 平成27年度会計報告・会計監査
 - (4) 平成28年度事業計画（案）
 - (5) 平成28年度予算（案）
 - (6) その他
- 4 研究発表
- 5 西尾市岩瀬文庫視察

本年度の総会及び第1回研究会が、平成28年6月30日（木）に西尾市岩瀬文庫にて行われました。今にも雨が降り出しそうな曇空の中、多くの学校関係者の方々に御参加いただき、充実した会となりました。

総会においては、最初に「平成28年度の役員紹介」があった後、「平成27年度の事業報告」・「平成27年度会計報告・会計監査」がなされ、その後「平成28年度事業計画」・「平成28年度予算」と進みました。議案についてはすべて承認していただきました。

第1回研究会においては、前半は研究発表、後半は西尾市岩瀬文庫の視察を行いました。



1 研究発表について

総会閉会後の研究発表では、愛知県立鶴城丘高等学校の永井信義先生が「鶴城丘高等学校の図書館活動紹介」と題して発表をなされました。

「図書館の概要」から始まり、「主な活動」・「問題点と改善」と話は進んでいきました。「図書館オリエンテーション」や「図書館だよりの発行」はもちろんのこと「一斉集団読書」、「朗読鑑賞会」、「ビブリオバトル」といった生徒の読書を誘うさまざまな工夫はとても参考になりました。しかし、伝統校であるため貴重な本（古本）が多いにもかかわらず、図書館の立地条件が悪いことや若者の活字離れにより、利用者が少なく頭をいためているようでした。その飾らない発表が、同じような悩みを抱えている多くの先生方の共感を得て、とても好評でした。



2 岩瀬文庫の視察について

後半は、西尾市岩瀬文庫の学芸員さんの案内による「岩瀬文庫資料に見る“Cawaii”“オモシロ”キャラたち」を視察しました。

おどろおどろしい妖怪が草双紙の中で滑稽に描かれている様子を、詳しく、楽しい解説とともに見学することができました。現在ブームになっている「ゆるキャラ」のルーツはここにあるのかもしれませんが。江戸時代の人々は、身の毛もよだつ妖怪さえも娯楽の一つとして、楽しんでいただかと思うと、何かしら心温まるものを感じざるを得ませんでした。展示されている妖怪の人気投票もあり、参加された先生方も、ニコニコ笑いながら投票されていました。どの展示物も貴重なものばかりで、とても有意義な時間を過ごすことができました。

